

BSD ウィークリー , 2021 年 5 月 10 日

### **Video: Discovery Class at Merlo**

Merlo Station Community School の教師, Peter Oliver は、ディスカバリーというクラスの中で、社会性・情動スキルの教育と意図的なコミュニティ形成に力を入れています。ご覧下さい。 <https://youtu.be/mfL2G1IGq6A>

### **16 歳以上の生徒のワクチン接種予約**

各学校区とオレゴン州保健局 (OHA) の協力により、16 歳以上の生徒を対象に COVID-19 ワクチン接種の機会を、5 月と 6 月の水曜日に Oregon Convention Center にて無料で提供します。

接種会場の Oregon Convention Center へ、スクールバスの利用が可能です。ハイスクールの生徒と保護者の方へ、ワクチン接種予約とスクールバス利用についてお尋ねするメールを送付しましたので、ご確認下さい。メールが届いていない場合は、お子さんの学校のオフィスへお問い合わせ下さい。

### **保護者アンケート**

毎年恒例の BSD 年次親調査が今年も実施されます。私たちの目標は、学校コミュニティのすべての人が歓迎され、価値があり、情報に通じていることを保証することです。今年の調査リンクは、5 月 16 日にスクールメッセンジャーに登録されているすべての保護者にメールで送信されます。アンケートへの回答の締め切りは 6 月 2 日です。

### **ISB がベストハイスクール全米 21 位に**

US ニュース&ワールド・レポート誌にて、International School of Beaverton (ISB) が Best High School のカテゴリーで全米 21 位、オレゴン州では 1 位にランクされました。ISB での国際バカロレア (IB) プログラムへの参加率は 100% です。 [Take a look](#) ISB の生徒とスタッフの皆さん、おめでとうございます。

### **スポーツ時のマスク着用**

ハイスクールの生徒がスポーツ競技に参加し、ご家族が選手の試合を観戦する機会を提供できることは大変喜ばしいことです。しかし、皆様のご協力が必要です。ハイスクールで生徒にスポーツやアクティビティの機会を提供し続けるためには、オレゴン州保健局 (OHA) と州知事が定めたフェイスカバー着用の義務を遵守しなければなりません。ルールでは、アスリート、コーチ、トレーナー、審判、そして観客など、全ての人が常にマスク等のフェイスカバーを適切に着用しなければならないとされています。 [Read more.](#)

## 成績に関するアンケート

この1年間、学校区は多くのことを学びました。また、基準に基づいた学習と公平性へのコミットメントを再認識しました。11月に、私たちは **Failing(F=不合格)** マークの使用を一時的に中止し、代わりに **Incomplete(I=不完全)** または **No Grade(N=成績なし)** マークを付けることにしました。(I)および(N)マークを使用することで、生徒が科目の基準を理解していることを示す証拠をより正確に伝えることができるようになりました。(I)と(N)マークではどちらも単位授与はありませんが、これらのマークを使用することで、単位を授与するにはまだ十分な証拠が見られないというメッセージが強化され、生徒に対して「一緒にがんばって行こう」というメッセージになります。

(F)の代わりに(I)と(N)使用を継続することについて、皆様からのご意見を募集しています。生徒はこれまで通り(A-D)のレターグレードでの評価を受けるため、(F)を廃止してもハイスクール卒業後の進路に悪影響を与えることはありません。

皆様のご意見はいかがですか。アンケート [survey](#) へ5月21日までにご協力下さい。アンケートは匿名となっており、学校区側でメールアドレスの記録をすることはありません。

## ミドルスクール社会科教材

オレゴン州教育省は、社会科の新基準を採用しました。ビーバートン学校区では、この要求された変更に対応するため、現在、カリキュラム改訂に取り組んでいます。ビーバートンのミドルスクールでは、2021年秋より **2021 Social Science Standards Integrated with Ethnic Studies** (エスニック研究と統合された2021年社会科基準) に沿った社会科コースを実施する予定です。当学校区では、州の基準に対応し、BSDの学習目標を満たし、全ての生徒にとって有意義で魅力的な社会科学習サポートが可能な、適切な教材を広範囲に渡って探しました。最終選考に残った教材出版社やそのリソースを [Social Studies Adoption resource webpage](#) でご覧になれます。

## Mayor's Youth Advisory Board

BSDハイスクールの生徒は、2021-2022年度の Mayor's Youth Advisory Board (MYAB) に応募することができます。MYABの目標は、地域社会の公益に貢献し、ビーバートン市長へ若者の声を届ける一方で、建設的な地域プロジェクトを組織し、地域社会メンバーとの関係を強化し、行政における若者の活動を促進し、要請に応じてビーバートン市のリソースとして活動することです。

5月21日まで候補者を受け付けています。採用された方には、6月18日までに通知します。詳細と応募はこちらをご覧ください。 [www.BeavertonOregon.gov/MYAB](http://www.BeavertonOregon.gov/MYAB)

### **BSD サマーワーク**

ビーバートン学校区では、メンテナンス部門にて荷物移動作業や塗装作業を夏季期間に担当していただける方を31名募集しています。16歳以上で、50ポンド以上の荷物を持ち上げることができ、運転免許証をお持ちで、毎日欠かさず出勤できる方は、[Current Openings webpage](#) よりご応募下さい。

### **Marathon Kids**

今年度、Marathon Kids はバーチャルでの実施となりました。生徒や家族は、学校のバーチャル・ランニングクラブに参加し、オンラインの Marathon Kids アカウントに記録を記入できます。Marathon Kids と Safe Routes to School は、秋、冬、春にランニングイベントを共同で開催し、生徒たちが外に出て体を動かすことを奨励しました。これまでに、BSD の 35 校、9,250 人の生徒が、5,148 回分のマラソン、2,697,686 分の活動時間、134,884 マイルの総走行距離を記録しました。BSD の皆さん、頑張りましたね!

Whitehead 夫妻は、夫婦共に BSD の体育教師です。夫の Jacob は Bonny Slope 小学校で、妻の Celia は Greenway 小学校で教えています。Whitehead 夫妻は、長年に渡り Marathon Kids のランニングクラブを指導してきましたが、パンデミックによりクラブの運営方法を変えなければなりませんでした。その様子をご覧ください。 [Take a look](#)

Bethany 小学校は Marathon Kids への参加が非常に活発で、このプログラムへの参加率で全米トップ 25 にランクインしています。Marathon Kids が学校やコミュニティに与える影響について、教師や生徒たちの声をお聞き下さい。 <https://youtu.be/Ow507a3ZCN8>